



シュロの皮やソテツの葉などを使い、カラフルで奇抜な装飾に彩られた来訪神トシドン。

大晦日の夜、「おるか、おるか。ここに来て障子を開けんか」と大きな声で子どもがいる家々を訪れるトシドン。下甕島の伝統行事で、平成21年にユネスコの無形文化遺産に登録された平成30年には秋田のナマハゲや悪石島のボゼなどを加え「来訪神仮面・仮装の神々」として、拡張登録されました。

古くから下甕島の各地域で行われてきたと伝えられていますが、現在は手打(手打港、手打麓、手打本町)、片野浦、瀬々野浦、青瀬の4集落で、地元の保存会と地域住民を中心とするメンバーにより受け継がれています。

「来訪神トシドン」は、普段は天上界から子どもたちのことを見守っています。大晦日の夜になると従者を伴い子どもがいる家々を訪れ、そ

恐ろしくも心優しき  
子の成長を見守る年神様



トシドンに年餅を背中にのせてもらい、自分の親の所へ運ぶ子ども。

の年の子ども素行や行儀を振り返らせ、悪戯をしたことを戒めたり、手伝いに励んだことをほめたりします。最後に、来る年をまたよい子で過ごすよう子どもたちと約束を交わし、大きな餅を与えます。この餅は年餅と呼ばれ、これをもらうと無事に歳を一つ重ねることができると言われています。トシドンは子どもたちの成長と幸福を願う「年神様」であり、日頃の子どものしつけや情操教育にも役立っています。

下甕郷土館では行事の記録映像を視聴することができます。

【薩摩川内市 下甕島】

ユネスコ無形文化遺産  
国指定無形民俗文化財

# 甕島のトシドン

大晦日の夜に訪れる  
下甕島の来訪神  
「甕島のトシドン」を  
ご紹介します。

## 行事の舞台

### 下甕島の4つの集落内

4集落(手打、片野浦、瀬々野浦、青瀬)

開催日: 12月31日(大晦日の夜)

住所: 薩摩川内市下甕島の4集落内

TEL: 0996-23-5111  
(薩摩川内市教育委員会教育部文化課)



手打麓地区